

第8回 難波利三・ふるさと文芸賞

入賞者を表彰

昨年11月3日、大田市民会館大ホールにおいて「難波利三・ふるさと文芸賞」の授賞式が開催されました。

この文芸賞は、温泉津町出身で、名誉市民の直木賞作家・難波利三さん（大阪府堺市在住）の功績を称え、新しい文化の創造等を目的に旧温泉津町において創設されたもので、第1回から「ふるさと」をテーマとしたエッセイ（随筆）を募集しています。

「どがなかな大田市です!!」読者の皆さんをはじめ、全国42の都道府県及び海外（小中学生の部は島根県内を対象に募集）から、これまでで最多となる382点の応募がありました。厳正な審査の結果、高校生以上の部と小中学生の部それぞれで特選1点、入選5点の計12点が選ばれました。授賞式では、難波さんによる作品の講評や特選作品の朗読も行われました。

【高校生以上の部】

※応募総数325点

特選=1点

- ◇中下重美さん（兵庫県三田市）
「水の音」

入選=5点（五十音順）

- ◇江藤 清さん（島根県江津市）
「足踏みミシンの音」
- ◇境 久さん（福岡県筑後市）
「どん腹」
- ◇福島洋子さん（長崎県島原市）
「初恋の街で」
- ◇森永政雄さん（愛知県安城市）
「田植歌をもう一度」
- ◇山本 鍛さん（北海道旭川市）
「りんごの絵」

【小中学生の部】

※応募総数57点

特選=1点

- ◇渡利百合子さん（江津市・江東中3年）
「裏の道」

入選=5点（五十音順）

- ◇市川佳奈枝さん（大田二中3年）
「祖父の存在」
- ◇大屋大成さん（湯里小6年）
「湯里の宝」
- ◇田原由麻さん（大森小6年）
「自然がいっぱい、私の町」
- ◇稗田真悠さん（大田二中2年）
「けがをして」
- ◇山下麻衣さん（温泉津中3年）
「缶コーンスープのように」

市内5人の小中学生から
一言メッセージ
祝

大好きな祖父の事について
受賞できてとても嬉し
いです。難波先生の
お言葉も心に染み
ました。市川佳奈枝

こんなによろしい
い賞がもらえてとて
もううれしいです。
これから大森の
町を大切にします。
田原 由麻

湯里のことを作文に
書いて入賞できてよ
かったです。難波先生
のお話できてうれし
いです。
来年は大賞がこ
れるようにがんばり
ます。
大屋 大成

自分の好きなバス
ケットの事を書いて
受賞できたので、と
ても嬉しかったです。
ありがとうございます
でした。稗田真悠

山下麻衣



授賞式後、難波利三先生（前列左から5人目）を囲んで記念撮影

入賞作品をまとめた作品集を販売しています（1冊220円）。詳しくは、お問合せください（市のホームページにも詳細を掲載しております）。

（問い合わせ：教育委員会生涯学習課 TEL 0854-82-1600）